

# 1. 校名・校章の由来, 校歌

## 校名の由来

本校は、秀峰日高の山並みを背に水音千古に変わらぬ静内川の清流と美しい沃野を眺望し、日本一を誇る二十間道路の桜並木の台地は誠に素晴らしい環境にあります。この恵まれた環境に、地域の永年の悲願である三校（豊畑小・御園小・田原小）統合による校舎が建てられました。

桜丘小学校の校名は、この理想的な環境の中で、「開拓の心を大切にし、清らかで美しき豊かな心と風雪に耐える逞しさを育てる学校を」との地域の願いがこめられています。

## 位置

北海道日高郡新ひだか町静内田原562番地の2

(北緯42度39分 東経142度45分)

## 校章



本校の校区にある二十間道路の桜を中心に置き、それを囲む三方の三角は、遠くにそびえ立つ日高山脈と三校の統合を表しています。中央の「小」の字は、小学校の小的文字を抽象化して、丘の上立つ学校とシベチャリ川の溪流を表しています。

【西崎 昭広 氏（静内三中 教諭）デザイン】

《作成過程》

…町が作品の公募を行い、その結果5点の応募作品があり、桜丘小開校準備委において審査を進め採用された。⇒学校沿革史より

## 校歌

Moderato 優美に

シベチャリの 川のささやき  
小鳥鳴く 庭の楽しさ  
旭にはえる 花のように  
すばらしい力 伸びゆくところ  
さくら さくら 桜丘小学校

とりなく にわのたのしーさ ひ  
みどり野の 風のきらめき  
さわやかな 窓の明るさ  
強く立つ 幹のように  
たくましい体 きたえるところ  
さくら さくら 桜丘小学校

にはえる はなの よーに すば  
力強く  
らしいちから のびゆくところ さく  
ら さくら さくら おかしょう がっ ころ

作詞 新渡戸 常 晴 氏(静内中 校長)  
作曲 橋 本 浩 二 氏(札幌西高 教諭)

- シベチャリの 川のささやき  
小鳥鳴く 庭の楽しさ  
旭にはえる 花のように  
すばらしい力 伸びゆくところ  
さくら さくら 桜丘小学校
- みどり野の 風のきらめき  
さわやかな 窓の明るさ  
強く立つ 幹のように  
たくましい体 きたえるところ  
さくら さくら 桜丘小学校
- ベテカリの 嶺のかがやき  
みがきあう 友のやさしさ  
清らかな 雪のように  
うつくしい心 育てるところ  
さくら さくら 桜丘小学校

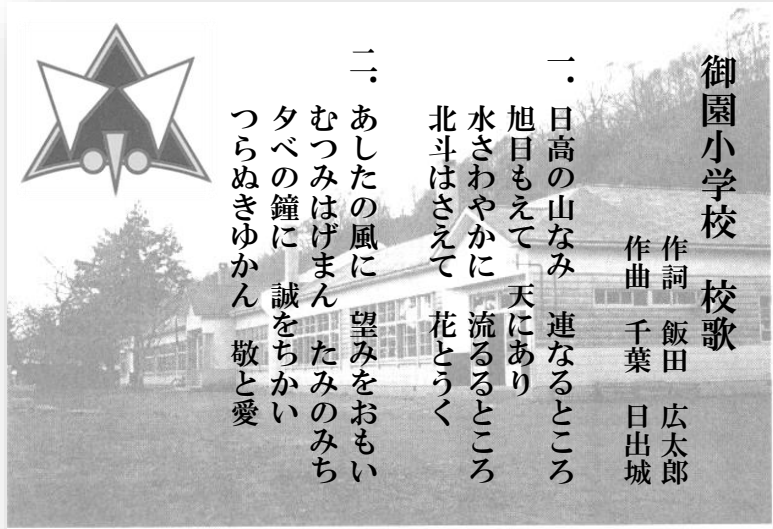
※作詞の構成は…1番⇒ 春のイメージ 知(力)…学力  
2番⇒ 夏のイメージ 体(からだ)  
3番⇒ 冬(秋)のイメージ 徳(心)  
総体的には、さくらの丘というイメージでつくられる。

※脚韻を踏むように考慮  
・ささやき ⇒ きらめき ⇒ かがやき  
・楽しさ ⇒ 明るさ ⇒ やさしさ  
・花のように ⇒ 幹のように ⇒ 雪のように  
・伸びゆくところ ⇒ きたえるところ ⇒ 育てるところ  
・さくら さくら 桜丘小学校 (リフレイン)

《学校沿革史より》

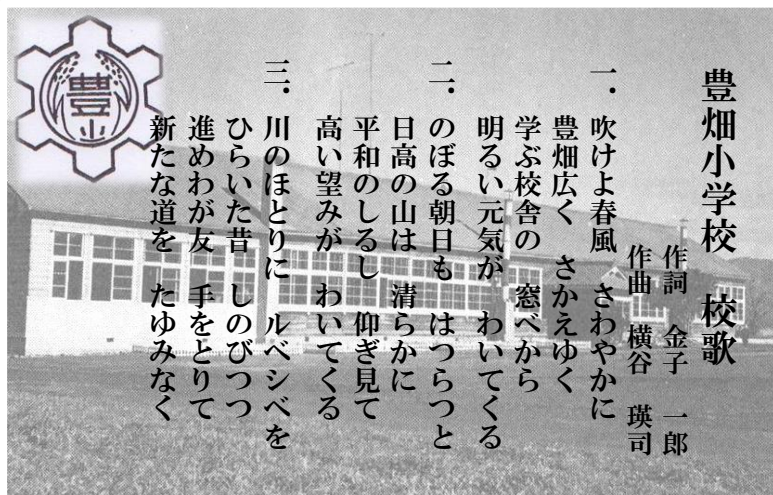
## 【桜丘小学校の誕生まで】

### ◇御園小学校；1892（明治25）年～1986（昭和61）年



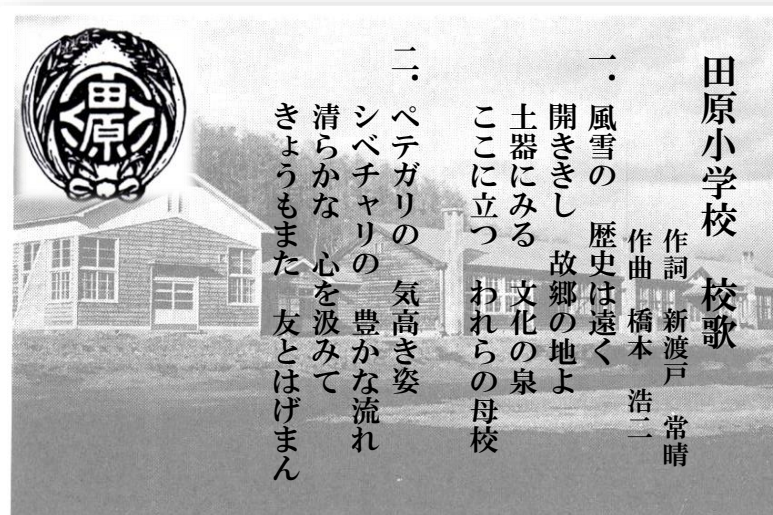
明治25年、高静小学校市父分校として開校。明治34年独立して市父尋常小学校となる。昭和22年、御園小学校と改称。昭和61年3月31日、統合のため閉校。

### ◇豊畑小学校；1896（明治29）年～1977（昭和52）年



明治20年、茅葺小屋で冬期間だけ移住者師弟の教育の場が設けられたのが前身。明治29年、高静小学校の分校として開校。明治34年、独立してルベシベ尋常小学校となる。昭和10年、豊畑小学校と改称。昭和52年3月31日で御園小学校と統合のため閉校。

### ◇田原小学校；1950（昭和25）年～1986（昭和61）年



高静小学校季節分教場として設置(昭和3～14年・12～3月)。通年制の分教場として昭和14～25年9月まで開校。昭和25年10月1日独立して、田原小学校となる。昭和61年3月31日、統合のため閉校。

